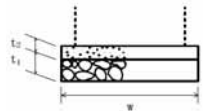
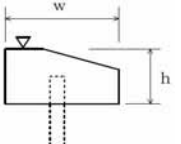
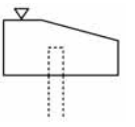


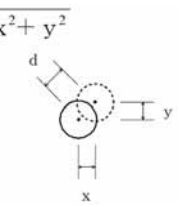
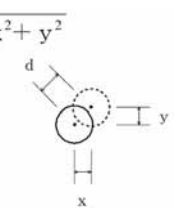
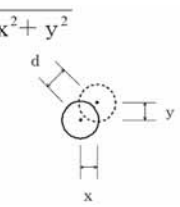
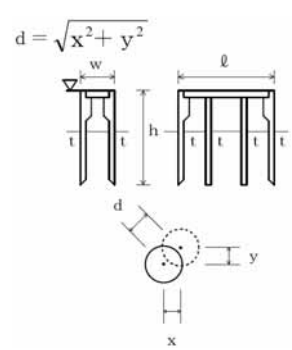
出来形管理基準及び規格値（一般土木）

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1	3	3	16		コンクリート面塗装工	塗 膜 厚	a . ロット塗膜厚の平均値は、目標塗膜厚合計値の90%以上。 b . 測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の70%以上。 c . 測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の20%を超えない。 ただし、測定値の平均値が目標塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。	塗装終了時に測定。 1 ロットの大きさは500 m ² とする。 1 ロット当たりの測定数は25点とし、各点の測定は5回行い、その平均値をその点の測定値とする。		
1	3	4	1		一般事項 (切込砂利) (砕石基礎工) (割ぐり石基礎工) (均しコンクリート)	幅 w	設計値以上	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、かつ1施工箇所につき最低3箇所測定。		
						厚さ t1, t2	- 30			
						延 長 L	各構造物の規格値による			
1	3	4	3	1	基礎工(護岸) (現場打)	基 準 高	± 30	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、かつ1施工箇所につき最低3箇所測定。		
						幅 w	- 30			
						高 さ h	- 30			
						延 長 L	- 200			
1	3	4	3	2	基礎工(護岸) (プレキャスト)	基 準 高	± 30	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、かつ1施工箇所につき最低3箇所測定。		
						延 長 L	- 200			

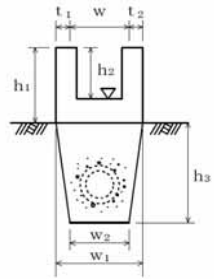
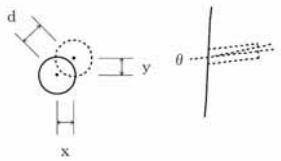
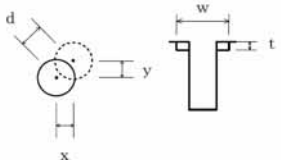
出来形管理基準及び規格値（一般土木）

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 共通編	3 一般施工	4 基礎工	4		既製杭工 (既製コンクリート杭) (鋼管杭) (H鋼杭)	基 準 高	± 50	全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	
						根 入 長	設計値以上			
						偏 心 量 d	D / 4 以内かつ100以内			
1 共通編	3 一般施工	4 基礎工	5		場所打杭工	基 準 高	± 50	全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	
						根 入 長	設計値以上			
						偏 心 量 d	D / 4 以内かつ100以内			
						杭 径	{ 設計径(公称径) - 30 } 以上			
1 共通編	3 一般施工	4 基礎工	6		深礎工	基 準 高	± 50	全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	
						根 入 長	設計値以上			
						偏 心 量 d	150以内			
1 共通編	3 一般施工	4 基礎工	7		オープンケーソン基礎工	基 準 高	± 100	壁厚、幅、高さ、長さ、偏心量については各打設ロットごとに測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	
						ケーソンの長さ	- 50			
						ケーソンの幅 w	- 50			
						ケーソンの高さ h	- 100			
						ケーソンの壁厚 t	- 20			
						偏 心 量 d	300以内			

出来形管理基準及び規格値（一般土木）

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
4	3	5	4		山腹明暗渠工	基準高	± 30	施工延長 40m(測点間隔 25mの場合は 50m)につき 1箇所、かつ 1施工箇所につき最低 3箇所。(なお、製品使用の場合は、製品寸法は、規格証明書等による)		
						厚さ t_1, t_2	- 20			
						幅 w	- 30			
						幅 w_1, w_2	- 50			
						高さ h_1, h_2	- 30			
						深 さ h_3	- 30			
						延 長 L	- 200			
4	3	6	4		集排水ボーリング工	削孔深さ	設計値以上	全数		
						配置誤差 d	100			
						せん孔方向	± 2.5度			
4	3	6	5		集水井工	基準高	± 50	全数測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。		
						編心量 d	150			
						長 さ L	- 100			
						巻立て幅 w	- 50			
						巻立て厚さ t	- 30			
4	3	8	6		合成杭工	基準高	± 50	全数測定。 D：杭径		
						編心量 d	D / 4 以内 かつ 100 以内			

出来形管理基準及び規格値（一般土木）

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
5 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工 (本体)	天 端 高	± 20	1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。 天端高(越流部堤頂高を含む)は、各ジョイントについて測定。 堤幅、リフト高は、各ジョイントについて5リフトごとに測定。 (注)堤幅、リフト高の測定は、上下流面枠と水平打継目の接触部とする。(堤幅は、中心線又は、基準線との関係づけも含む) ジョイント間隔(横継目)は、5リフトごと上流端、下流端を対象に測定。 堤長は、天端中心線延長を測定。 3. 越流堤頂部、天端仕上げなどの平坦性の測定方法は、監督職員の指示による。 監査廊の敷高、幅、高さ、平坦性などの測定方法は、監督職員の指示による。		
						天 端 幅	± 20			
						ジョイント間隔	± 30			
						リ フ ト 高	± 50			
						堤 幅	- 30 , + 50			
						堤 長	- 100			
5 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工 (水叩)	天 端 高	± 20	1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。 天端高(敷高)は、ジョイント間は各ジョイント、各測点の交点部を測定。 長さは、各ジョイントごとに測定。 幅は、各測点ごとに測定。 3. 水叩の平坦性の測定は監督職員の指示による。		
						ジョイント間隔	± 30			
						幅	± 40			
						長 さ	- 100 , + 60			
									(注)1. j : ジョイント	